

## 提案趣旨説明書

・ 作品タイトル

### 三河安城の大屋根

・ 提案の趣旨

① 三河安城の「食」というカルチャーを発信する場所となる。

三河安城周辺には、トヨタをはじめとしたものづくりに従事するさまざまな国籍の人々が暮らしています。そのため、日本人が経営する料理店のほか、多くの外国料理店が出店されています。また、三河安城は駅から少し離れれば、豊富な水資源に恵まれた広大な農地が広がる農業が盛んな地域として知られています。一方で、三河安城商店街に所属する店舗は商店街のように集まっておらず、駅前に訪れた人たちがどこに行けば良いのかわからなくなってしまっているのが現状です。

駅前を訪れた人たちが、三河安城の豊かな食文化に触れることができ、そこから活動が波及していくような場所が必要だと考えます。

多国籍文化と農業に支えられる三河安城の豊かな「食」の集まる大屋根広場を計画します。駅前の大きな広場に三河安城の「食」が集まり、訪れた人たちが三河安城の「食」を知り、まち全体に活動を広げていくきっかけとなる場所になります。

② 大屋根によってとりとめのない駅前広場にコンテキストを作り出す。

計画敷地は法規上、駅前広場ではなく、公園（公園は屋根付き広場だとしても建蔽率の規定がある）でもなく暫定的に利用されてきた行政財産の一つであるため、多様な活動を支えるための大きな屋根を敷地いっぱいにかけることを提案します。

敷地北側には明治用水中井筋の緑道が東西に伸びています。JR線と新幹線に挟まれた不整形の敷地に、緑道に沿うような方向性を持った曲面屋根をかけます。

敷地全体にかけた大きな屋根は、三河安城駅を訪れた人たちを迎え入れる新しい玄関口となるとともに、多くの人で賑わう駅前の風景を印象付ける新しい三河安城らしさを醸成していきます。

③ 公民連携スキームで建築費の補助とマルシェの活発な利用促進

公民連携事業で決定する(地域貢献点加点の審査型入札型)民間事業者による整備補助・管理を行うことで、広場全体の維持管理に必要な財政負担の軽減を図るとともに、屋根の下で店舗を運営している事業者が管理することで、柔軟な広場の運営・管理により収益性向上→新たなまちづくり活動への基盤とします。